

# ○女性グループによる草もちの製造・販売

## 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	富山県氷見市論田			
協定面積 32.7ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 657万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農用地の維持管理費		10%
		農道の維持管理・補修		30%
		役員報酬等		3%
農道・水路整備費繰越金		7%		
協定参加者	農業者 94人、非農業者 31人、その他 1団体			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	集落全域で作成済			

## 2. 取組に至る経緯

論田集落は、氷見市西部に位置し石川県境に位置している。

当集落は傾斜がきつく、大きな面積が点在し農業者には厳しい条件であり、農業者の高齢化や担い手不足により荒廃地の発生が懸念されていた。

そこで、集落全体で農地を守っていくため、平成12年度より中山間地等直接支払制度に取り組み、主に農道や水路などの管理を行っている。

## 3. 取組の内容

共同活動として、農道の新設、舗装整備や老朽化した排水路の整備に取り組んでいるほか、協定農用地の一部で、特産品ハトムギの栽培、市道沿線に花の植栽などにより、美しい農村景観を保っている。

また、協定参加者全戸が構成員となっている特産品加工組織「食彩ふるさと」の女性グループ6名が中心となり、もち米と集落内で採取されたヨモギを使用した地域特産の草もち等を年間10万個以上製造・販売し、お休み処熊無（直売所）、JAグリーン及び市内スーパーへ出荷している。

その他、園児の体験農業にも取り組むとともに、障害者施設の入居者と農作業を通じて交流を深めている。



【集落住民による「草もち」の製造】



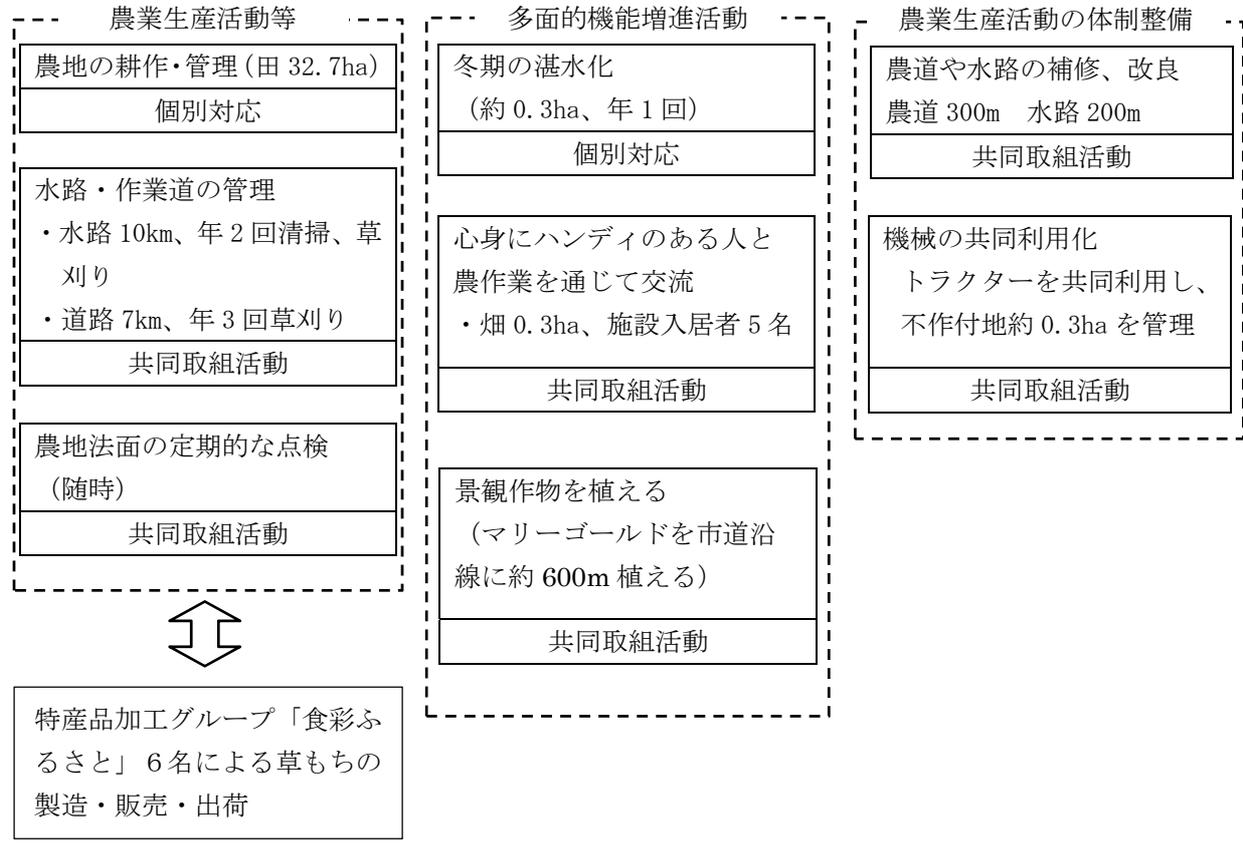
【地域の園児による収穫体験】

**[集落の将来像]**

- 集落内で高齢化が進み荒廃地が発生していることから、市道沿線の植栽や荒廃地の農地復元を行うことで明るい景観を保つ。
- 地域特産品の製造により、集落内に雇用をもたらすことで活気のある集落を目指す。

**[将来像を実現するための活動目標]**

- 協定農用地を拡大し農業が活発な集落を維持するとともに、特産品のもち米を用いた「草もち」の製造・販売を通じて農業振興と地域の働き場の確保を図る。



**[集落外との連携]**

- 地域の園児や障害者施設入居者との体験農業などを通じて交流を深めている。

**4. 今後の課題等**

地域特産品の製造・販売を通じて集落内に活気がでてきており、農道の舗装や水路の補修も進み農業がしやすい環境が整ってきているが、高齢者が多く、今後どのようにして現在の体制を継続していくかが課題となっている。

地域特産品の販路を拡大し、より多くの人に安心して安全な特産品の提供ができるよう努めるとともに、「食彩ふるさと」による地域活性化の取組を継続していきたい。

**[第 2 期対策の主な成果]**

- 当事業を活用し苗栽培ハウスを建設。(年間2,000~3,000箱を生産)
- 「食彩ふるさと」にて、集落で生産されたもち米を年間約 6 t 使用し、草もち、豆もち、切りもちを製造(1日平均300個)、売り上げは 1 日当たり 3 万円となっている。